

本連盟主催試合共通大会規定および注意事項

1. 当日エントリー
 - ・当日の試合のベンチに入ることのできるスタッフは7名、選手は15名以内とする。また、コート上で練習できる選手もこの15名以内とする。
 - ・試合に出場する選手・スタッフのエントリーは指定された用紙に必要事項を記入し、前の試合のハーフタイム終了時まで各会場大会本部に提出すること。
但し、第1試合の場合は試合開始30分前までとする。
その際外国人選手はエントリー用紙の備考欄に「外国人」と記入すること。
 - ・競技中コート上で同時にプレイできる外国人選手は1名とする。（オンザコート1）
 - ・外国人選手で日本国籍を持たなくとも、「教育基本法」「学校教育法」で定める日本での小学校および中学校教育・中等教育学校の前期部分(義務教育)を修了した者は、日本人と同等と見なす。
 - ・エントリー用紙提出と同時に、ベンチに入るスタッフのスタッフ証と選手の選手証を大会本部に提出すること。当日スタッフ証、選手証を忘れた場合、試合出場およびベンチに入ることを認めないが、「本規定 10.注意事項③」の手続きをされた場合はこの限りではない。
また、スタッフ証と選手証の返却は試合後に行う。
 - ・当日エントリーと当初大会登録の番号変更は一切認めない。但し、本連盟登録選手(学生主務)が、本連盟登録学生主務(選手)への変更はこの限りではない。副務・マネージャー表記で本連盟登録者の扱いは主務と同等とする。
 - ・エントリー用紙提出後、一切の追加・変更は認めない。
 - ・上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。
2. ユニフォーム
 - ・チームで身に着ける全てのものは同一の単色かつ無地でなければならない。
 - ・ユニフォーム(上・下)は前後同じ主となる色でデザインされたもの、シャツ(上)に袖がある場合は肘より上まででなければならない。長袖は認められない。
 - ・全てのプレーヤーは、コート内ではシャツをパンツの中に入れなければならない。「オールインワン」は認められる。
 - ・ユニフォーム(上・下)は淡色(白色)、濃色を用いることを原則とする。但し、何らかの理由でこれを厳守できない場合は対戦チーム同士の話し合いで決定すること。尚、その場合は学連競技部、または会場責任者(各部リーグ戦会場責任者)の承認を得ること。
 - ・ユニフォームは2桁以内の番号を用い、これらの番号以外は認めない。
「0」もしくは「00」を使用することは認めるが、同時にエントリーすることはできない。また、「07」のように1桁の番号の前に「0」を使用することはできない。
 - ・ユニフォーム(下=パンツ)の裾は膝より上でなければならない。膝頭にかかる長さのパンツは認めない。
 - ・ユニホームの襟や肩から上半身用のアンダーウェアがはみでること、およびTシャツを着用することは認めない。
 - ・ソックスはチームの全プレーヤーが同じ主となる色でデザインされたもの、ソックスは見える状態でなければならない。
 - ・アームスリーブで、シャツと同じ主となる色か黒色か白色のもの、ただし、同じチームの

プレイヤーは同じ色を着用しなければならない。

- ・脚のコンプレッションスリーブで、パンツと同じ主となる色か黒色か白色のもの、ただし同じチームのプレイヤーは同じ色を着用しなければならない。
- ・ユニフォームへの着替えはベンチやスタンドなどの公衆の面前では行わないこと。
- ・その他の事項は、公益財団法人日本バスケットボール協会「ユニフォーム規定」を厳守する。
- ・1つの試合中に上記の規定に違反した場合、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は当該選手の退場とする。

3. ベンチ

- ・ベンチはリーグ編成表のチーム番号の若い方がテーブル・オフィシャルに向かって右側とする。
- ・ベンチは大会組み合わせ番号の若いチームがテーブル・オフィシャルに向かって右側とする。(選手権大会と新人戦)
- ・JBA公認コーチの資格保持者(1部・2部はC級以上・3部以下はE級以上)は試合中ベンチにいないといけない。その際、JBA公認コーチ証を首から提げて指揮すること。
- ・試合中ベンチにいない場合は原則として大会に参加、出場を認めず当該試合は没収とする。
- ・**特別処置**として、①受講中の場合は認める。(2020年3月31日までにJBA登録番号が付与されること)、②チーム就任2年目までに限り可とする。(①②の解釈は②でかつ①であること)。
- ・**不測の事態**によりコーチ資格保持者が試合開始時刻に間に合わない旨の連絡を受けた場合や、緊急事態が発生したためコーチ資格保持者と連絡が取れないと推測される場合は、コーチ資格保持者が不在であっても本連盟の判断で試合を開始することができる。いずれの場合も、コーチ資格保持者が試合開始時に不在となったチームの代表者は、速やかにその理由を証明する書類を大会本部まで提出しなければならない。
- ・上記書類を審査し、コーチ資格保持者が不在となった理由が緊急かつやむを得ないものであると認められる場合に限り、本連盟は試合の成立を認めることができる。尚、上記の案件が発生した場合、試合終了後10日以内に当該チームは本連盟宛に「大会中のコーチ資格保持者不在による報告書」を提出することとする。

4. スタートメンバー

- ・コーチ【チームにより部長・監督・学生コーチ・選手の名称の方も可】は試合開始5分前までにテーブル・オフィシャルにスタートメンバーを報告しサインすること。

5. 試合中

- ・サインをしたコーチのみが試合中、チーム・ベンチ・エリア内で立ち続けることができる、またタイムアウトの請求ができる。但し、3部以下所属チームでコーチ資格保持者が選手としてコート上において、コーチ資格保持者がベンチに誰もいない場合に限りタイムアウトの請求をベンチにいる非資格保持者に委任できる。
- ・チームで選手・スタッフ併せて5名の場合に限り、タイムアウトの請求をコート上のコーチ資格保持者から請求する事ができる。但し、試合開始前のサイン時に相手チームおよび審判に、その旨を報告すること。
- ・上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。

6. ゴール

- ・第1・第2クォーターのゴールは相手チームのベンチ側とし、第3・第4クォーターおよびオーバータイムのゴールは自チームのベンチ側とする。

7. 練習

- ・試合中ベンチの後ろで練習してはならない。

- ・ベンチ横のウォーミングアップエリアが設置されている場合は、次に交代する選手のみが当該エリアでアップを行なう事を認める。但し、ボールの使用、当該エリアに長時間の立ち入りを禁止する。また、ウォーミングアップエリアが設置されていない場合は会場責任者の指示に従うこと。
- ・次の試合に当たっているチームが、前の試合のハーフタイムにコート上で練習することは原則として認めない。
- ・上記の規定に違反した場合は、1回目はベンチテクニカルファウル、2回目は没収試合とする。

8. 棄権

- ・何らかの理由でやむを得ず棄権しなければならない場合は、必ず前日までに本連盟の承認を得て、相手チームに連絡すること。（指定用紙提出）
- ・試合開始予定時刻より、15分遅れた場合は没収試合とする。
また指定されたユニフォームが揃わない場合も、これに準ずる。
- ・無断で棄権した場合は、理事会協議により後日チームに何らかの処分を下す。
- ・ゲームを棄権しても割り当てられたテーブル・オフィシャルやフロアワイパー係等は行うこと。
- ・本連盟以外が主催する大会に出場するための棄権は一切認めない。

9. 運営

- ・学連競技部において詳細について決定する。

10. 注意事項

- ①選手は選手証、スタッフはスタッフ証を携行し、会場への入場の際には必ず呈示すること。
- ②JBA公認コーチは事前に本連盟へJBA公認コーチ証のコピーを提出すること。
また、試合当日は大会本部にJBA公認コーチ証を呈示し、スタッフの場合は試合中に首からJBA公認コーチ証を提げて指揮すること。
- ③選手証、スタッフ証、公認コーチ証を忘れた場合は各会場大会本部にて、別途本人確認できる身分証名書(大学の発行する写真付きの学生証・運転免許証等の写真付きのもの)を本人が呈示の上、当日限りの仮証明書を発行し試合に参加できることとする。
JBA公認コーチ証を忘れたコーチはJBAホームページより本人がパスワードを入力し、JBA公認コーチ証を印刷できる場合は試合参加を認めることとする。いずれの場合も入場料・印刷発行手数料として1人500円を徴収する。
- ④テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等は試合開始10分前にそれぞれ指定された場所に着くこと。尚、テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等を怠ったり、遅刻した場合は、始末書を提出すること。
- ⑤控え室の使用は当日の「控え室割り当て」に従い、交代はすみやかに行うこと。鍵を使用する場合は大会本部で受け取り、使用後は次の試合のハーフタイム終了時までには必ず大会本部に返却すること。最終試合のチームは、試合終了後30分以内に退出し鍵を大会本部に返却すること。チーム間での受け渡しは厳禁とする。
また、同大会中3回以上返却が遅れたり、違反した場合は、始末書を提出すること。
- ⑥会場において「イン」「アウト」のシューズをはっきり区別して使用すること。
- ⑦選手は不測の事態に備えて必ず保険証を持参すること。
およびチームとしてスポーツ保険に加入していること。
- ⑧選手は「一般社団法人関東大学バスケットボール連盟定款、細則・選手資格および資格審査に関する細則」を厳守すること。特に選手の倫理規定を厳守し、本連盟の選手として

の品格を保つこと。また、本連盟所属のコーチ、指導者も常識ある服装をし、身だしなみ等に注意して、品格を保つこと。

⑨会場校への車の乗り入れは原則として禁止する。但し、遠隔地である場合に限り本連盟にて承認する場合がある。

⑩万一、不測の事故等にあった場合は速やかに本連盟・大会本部に連絡すること。
この場合、試合日時変更等の処置については、本連盟競技部の決定による。

⑪安全義務講習会を受講した人がベンチに1人いる事が望ましい。

⑫各項に於いて順守できず、始末書・報告書・顛末書等の提出が同大会中合計3回以上あった場合は理事会協議により何らかの処分を下す。

※ その他の問題については、本連盟の判断を最終決定とし、本部役員に従うこと。

上記の大会規定・注意事項以外のルールは、「公益財団法人日本バスケットボール協会 2018バスケットボール競技規則」「一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟定款・基本規定」「一般社団法人関東大学バスケットボール連盟定款・細則」を適用する。

会場責任者の役割

会場責任者の定義は、**学生役員のいない**会場において不測の事態や疑義が生じた際に適切に対応できるように、本連盟より任命された理事および各大学指導者・代表社員のことである。

・会場責任者は担当する試合全ての大会運営の権限委嘱を受け、下記職務を行う。

1. 試合が開始する前に、JBA公認コーチの資格を有する者がベンチ内にいる事を確認する。公認コーチの資格を有する者がいない場合は、競技部長・競技副部長または競技担当学生委員に連絡する。

2. スタッフ・選手にトラブルがあった場合は本連盟定款・細則、JBA現行競技規定に基づき対処する。
判断しかねる場合は、競技部長もしくは競技副部長に連絡し対処する。

(ア) 外国人選手が出場登録されている場合、試合中に外国人選手が規定通りに出場しているか確認する。

(イ) 大会規定に記載されているユニホーム規定に反している選手がいないか確認する。

(ウ) 試合中の怪我によるサポーターの着用に関しては、審判と話し合い、着用の可否を決定する。

(エ) 試合の指揮をとる者がコーチ証を首から下げているか確認する。

(オ) エントリー番号のチェックをする。

3. 観客とのトラブルが発生した場合は学生役員に相談の上、競技部長もしくは競技副部長に連絡する。

4. 試合中に選手が怪我をした場合は、会場校学生委員と連絡をとり、対処する。

5. 当日割り当ての試合終了後、会場責任者割り当て表にサインし、「会場責任者任務チェックリスト」を各会場大会本部に提出して任務終了となる。

6. その他大会運営上に支障をきたす事由につき対応する。